

# 紙袋展開図作成

この度は、フリーウェアソフト「紙袋展開図作成Ver1.2」をダウンロードして頂き、ありがとうございます。

このソフトは、Windows10/11 でご使用ください。

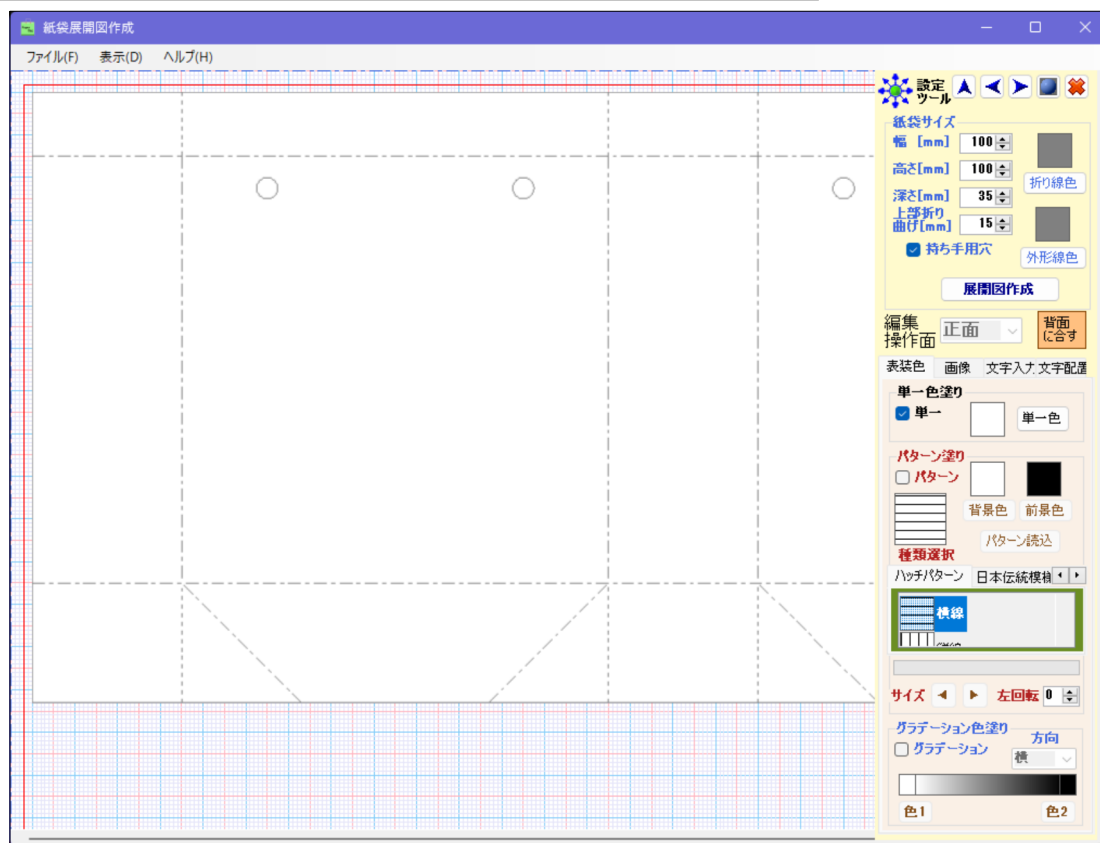
A4 サイズの普通紙に印刷できるカラープリンターが必要です。別途補強用厚紙が必要です。

「紙袋展開図作成」は、自由なサイズで(展開図の最大サイズはA4用紙)紙袋の展開図を印刷するソフトです。

プレゼントを入れて相手に渡したり、自分専用の小物入れに利用できます。

## 特徴

- ▶ 1mm 単位で自由なサイズの紙袋の展開図を作成。  
展開図は、最大 A4 用紙サイズまでの大きさです。
- ▶ 色を選択して紙袋の表面を着色  
グラデーション色で紙袋の表面を着色  
81種類+オリジナル(1)のパターンで紙袋を表装  
任意の画像で紙袋の表面を表装  
反対面のデザインをボタン1つで同一に設定
- ▶ 1面に2種類の色付文字を紙袋の表面に描画  
グラデーション色文字を紙袋の表面に描画  
縁付文字を紙袋の表面に描画  
影付文字を紙袋の表面に描画
- ▶ 設定パネルの左右移動、自由移動、タブ形式の設定項目



## 1) インストール&アンインストール

### ■インストール

ソフトを使用するには、「paperBag.zip」を右クリックして、「すべてを展開」をクリックします。

手順に従って操作し、「paperBag」フォルダー内の「paperBag.exe」をダブルクリックしてください。

「paperBag」フォルダー内のファイルを移動したり、削除しないで下さい。

### ■アンインストール(パソコンからソフトを削除)

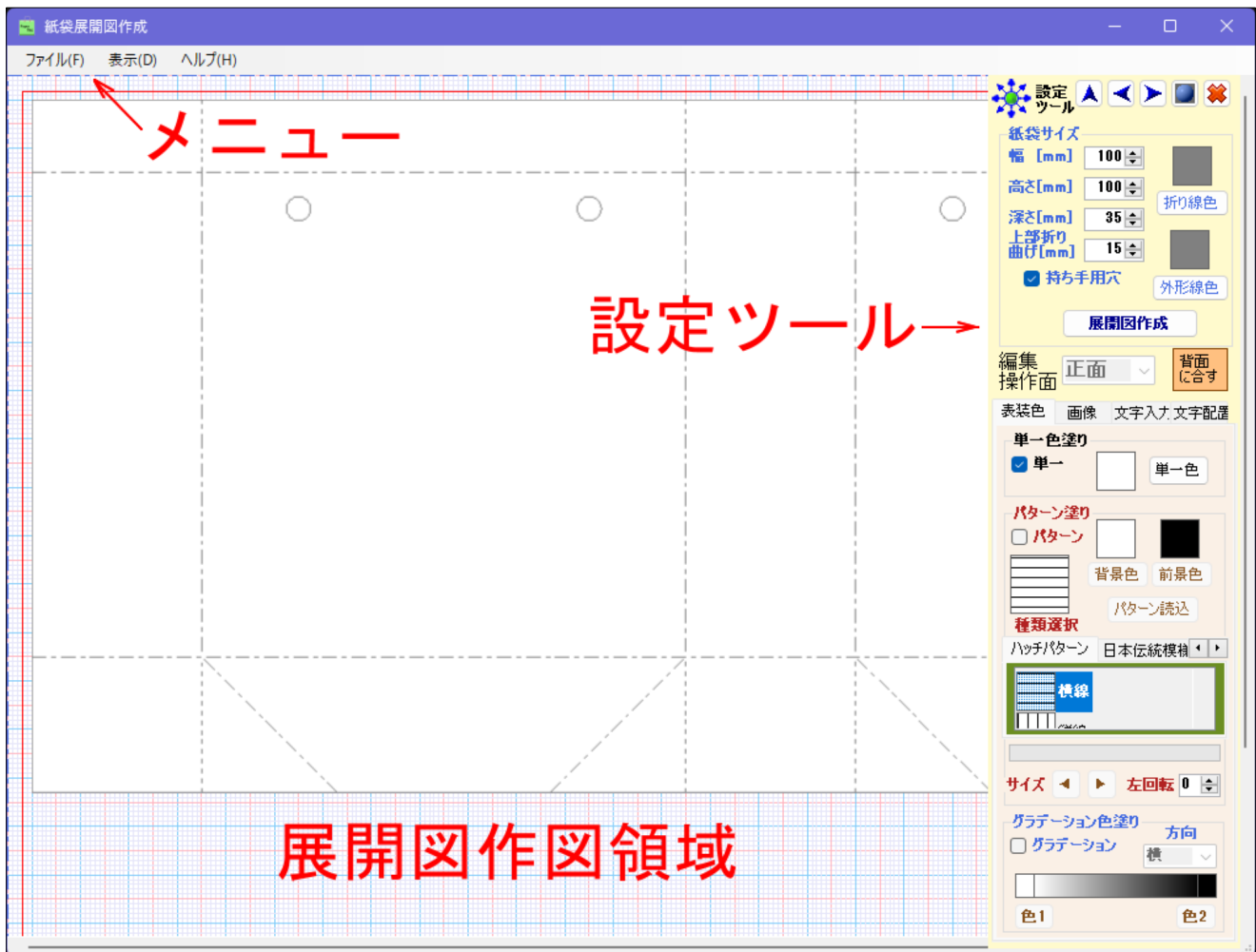
ソフトをアンインストールするには、「paperBag.zip」「paperBag」フォルダーを削除してください。

## 2) ソフトの使用方法

### ■操作画面の説明

「paperBag」フォルダー内の「PaperBag.exe」をダブルクリックすると、下記画面が表示されます。

「紙袋展開図作成」全体図



- ▶ 最初に展開図表示領域に描かれている展開図は、幅100mm×高さ100mm×深さ35mmのサイズの紙袋の展開図です。
- ▶ 画面上の「メニュー」は、デザインした紙袋のデーターを保存、印刷などがあります。
- ▶ 画面右上の「設定ツール」のパネルは、紙袋の設定を変更する数値入力や作成ボタンなどがあります。
- ▶ 画面右下は、紙袋の各面の表装色や、文字入力などを設定します。
- ▶ 画面右最上部のツール移動ボタンは、設定ツールを一時的に隠したり、左に移動したりします。

🌸をクリックしながらドラッグすると自由な位置に移動します。[NEW]

- ▶ 「持ち手用穴」無しも設定できます。 [7 ページに「紙袋工作方法」を載せています。](#)

## ☐メニュー

### 1. ファイル

#### 1-1. 新規作成

各設定をソフト起動時の状態に初期化します。最初からやり直したい時に便利です。

#### 1-2. データを開く

拡張子は、「.pbg」です。

保存した紙袋の展開図データを読み込みます。

#### 1-3. データを保存

拡張子は、「.pbg」です。

現在の紙袋の展開図データを保存します。

#### 1-4. 画像保存

拡張子は、「.bmp」です。

現在の紙袋の展開図をビットマップ画像で保存します。

#### 1-5. 印刷プレビュー

印刷した場合の全体表示と、現在の印刷設定内容を表示します。

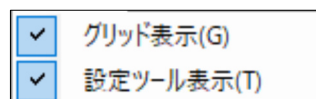
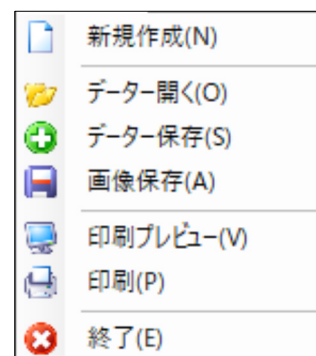
#### 1-6. 印刷

右端の糊面の縦線の印字切れが生じる場合があります。

糊面は、15mm幅です。

#### 1-7. 終了

「紙袋展開図作成」を終了します。



### 2. 表示

#### 2-1. グリッド表示

▶ 「グリッド表示」をクリックし、チェックマークを消すと展開図表示領域のグリッドを表示しません。

▶ グリッドを表示する場合は、もう一度クリックして、チェックマークを付けてください。

▶ **赤線** 10mm単位毎、**青線** 5mm単位毎、**グレー線** 1mm毎にグリッド線が表示されます。

#### 2-2. 設定ツール表示

▶ 「設定ツール表示」をクリックし、チェックマークを消すと設定ツールを表示しません。

▶ 設定ツール表示する場合は、もう一度クリックして、チェックマークを付けてください。

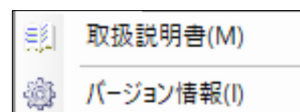
### 3. ヘルプ

#### 3-1. 取扱説明書

このPDF説明書を表示します。

#### 3-2. バージョン情報

このソフトのバージョンを表示します。



## ☐設定ツール

▲ボタン 設定ツールが上に縮まる

◀ボタン 設定ツールが左端に移動、左に縮まる。

▶ボタン 設定ツールが右端に移動、右に縮まる。

●ボタン 設定ツールが固定される(縮まらない)起動時設定

✖ボタン 設定ツール非表示 メニューの「表示」の「設定ツール表示」をクリックして、チェックマークを付けると設定ツールを表示できます。

✳️ **設定ツール左上端をクリックしながらドラッグすると、自由な位置に移動できます。[NEW]**

▶ 設定ツールが縮まれば、展開図全体を見れます。

▶ 設定ツールの端(黄色い帯)にマウスのカーソルを乗せれば設定ツールが展開されます。カーソルを離し、しばらくすると縮まります。



### 1. 紙袋サイズ

#### 1-1. 寸法について

▶ 「紙袋サイズ」の各入力ボックスに、紙袋の幅、高さ、深さ、上部折り曲げ(単位mm)を入力します。

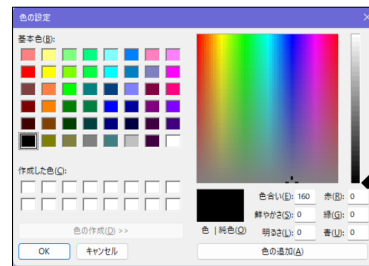
▶ 数字をマウスでクリックしてからキー入力するか、右のアップダウンボタンをマウスでクリックして数字を変更して入力します。

▶ 各サイズを入力して、用紙サイズを超えると、別の数値が自動で小さくなります。各数値を確認してください。  
「上部折り曲げは、持ち手補強用に内側に曲げる部分です。」



- ▶ 全ての最大サイズでは、展開図がA4用紙に収まりません。
- ▶ 持ち手を付けない場合は「持ち手用穴」チェックマークをクリックして外してください。  
「上部折り曲げ」寸法は、0mmになります。
- ▶ 入力終了したら「展開図作成」ボタンをクリックします。  
外形線色、折り線色（色設定）最初は、グレーです。黒にすると、切り目や折り目が汚くなります。

色の設定



## 2. 表装色

### 2-1. 単一色塗り

- ▶ ソフト起動時の表装色は、白色です。
- ▶ 「単一色塗り」の「色設定」ボタンをマウスでクリックします。  
「色の設定」（上記）が表示されます。  
「色の設定」の各色パネルをクリックします。  
好きな色を選択して、「OK」をクリックします。  
「展開図作成」ボタンをクリックします。

### 2-2. パターン塗り

- ▶ 81種類のパターン（縦線や網目等）+自作1種類で紙袋に模様を着けます。「パターン」をクリックしてチェックマークを付けます。  
「種類選択」の右下の▲▼をクリックし、パターン名をクリックすると「イメージ」に選択したパターンが表示されます。  
ハッチパターン、日本伝統模様、その他があります。
- ▶ パターンの色は、「背景色設定」と「前景色設定」のボタンをクリックして、上記「色の設定」で設定します。
- ▶ **サイズ左右ボタンをクリックするとパターンを拡大縮小します。左回転の角度(0~90°)で、パターンを傾ける事ができます。**
- ▶ 「ユーザー設定」は、十字枠のパターンですが、他のパターンや模様、絵の画像を設定できます。  
「パターン読込」のボタンをクリックすると「パターン画像を開く」画面が表示されます。パターンにしたい画像ファイルを選択して、「OK」ボタンをクリックします。「展開図作成」ボタンをクリックします。その選択画像が紙袋の展開図全体にパターンとして表示されます。パターンにしたい画像は、32×32ドットの白黒画像（灰色無し）にすれば、前景色と背景色でパターンが描かれます。



### 2-3. グラデーション塗り

- ▶ 紙袋の展開図を2色の設定によるグラデーション色で塗ります。
- ▶ 「グラデーション」をクリックして、チェックマークを付けます。
- ▶ 「色1」「色2」の左右の色パネルをクリックすると  
上記「色の設定」が表示されます。好きな色を選択して、「OK」をクリックします。
- ▶ 真中のパネルに、そのグラデーション色が表示されます。  
「展開図作成」ボタンをクリックします。
- ▶ 「方向」で、「V」をクリックして、グラデーション色の方向を選択します。  
「縦」は上から下へのグラデーション「斜め左」は左上から右下へのグラデーションです。  
「斜め右」は右上から左下へのグラデーションです。

## 3. 編集操作面の選択

- ▶ 画像や文字を紙袋の展開図に入力・設定する場合、どの面に入力設定するのかを選択します。
- ▶ 「画像」又は、「文字入力」のタブをクリックします。
- ▶ 「編集操作面」の右側「V」をクリックして、編集操作面を選択してください。
- ▶ 正面、背面、左側面、右側面から選択します。
- ▶ 右端の「〇〇に合す」ボタンをクリックすると反対面と表装を合せることができます。

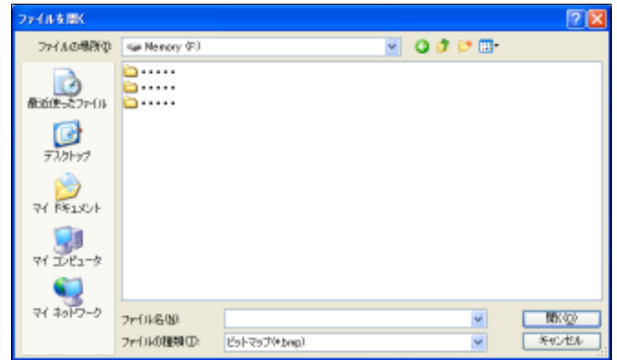


## 4. 画像

- ▶ 「画像」のタブをクリックします。
- ▶ 「画像描画取消」をクリックし、チェックマークを外します。
- ▶ 面の画像貼付を取り消したい場合は、「画像描画取消」をクリックし、チェックマークを付けます。

### 4-1. 画像読み込み

- ▶ 画像を付けたい面を「編集操作面」の右の「V」をクリックして、選択します。「画像読込」ボタンをクリックします。
- ▶ 「画像ファイルを開く」画面が表示されます。
- ▶ 「ファイルの種類」から画像を選択します。
- ▶ 使用できる画像の種類はBMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF、WMF、EMFです。  
目的のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- ▶ 画像イメージに目的のファイルの画像が描かれます
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。
- ▶ 紙袋の展開図の現在選択されている面に、目的のファイルの画像が描かれます。
- ▶ ソフト起動時は、紙袋の現在選択されている面いっぱいに画像を描く「ストレッチ」にチェックマークが付いています。
- ▶ 元画像の縦横の比率を重視したい場合は、「比率固定」をクリックしてください。



### 4-2. 画像回転

- ▶ 画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。
- ▶ 「普通」→回転なし、「左向」→左90°、「右向」→右90°、「下向」→180°
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

### 4-3. 画像移動

- ▶ 画像を面の各辺に移動する場合は、「画像移動」の移動方向の矢印をクリックします。
- ▶ 通常は画像を面の中心に貼り付けます。「比率固定」時は、上下又は、左右に空白ができます。
- ▶ 空白の方向（上下左右）に画像を移動して貼り付けたい場合は、矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 例えば、面の中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

## 5. 文字入力

- ▶ 紙袋の展開図の各面それぞれに単色文字、グラデーション色文字、影付文字、縁付文字が設定できます。
- ▶ 単色、影付、縁付の複合、グラデーション色、影付、縁付の複合でも設定できます。
- ▶ 面の文字描画を取り消したい場合は、「文字描画取消」をクリックし、チェックマークを付けます。
- ▶ 再び文字描画したい場合は、「文字描画取消」をクリックし、チェックマークを外します。
- ▶ 「フォント設定」ボタンを押して、文字の種類、大きさや色を設定します。  
通常は、「MS UI Gothic」の9ポイントです。

### 5-1. 文字入力

「文字入力欄」に描きたい文字を入力します。タイトル文、本文の2種類有。「展開図作成」ボタンをクリックします。。

### 5-2. 縁付文字

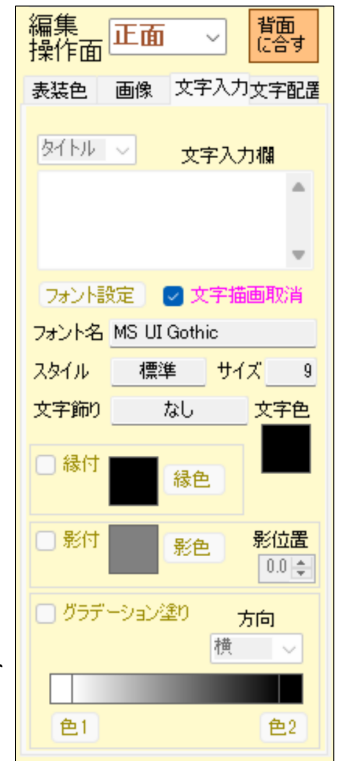
「縁付」をクリックして、チェックマークを付けます。  
「色設定」をクリックして、縁色を決定します。  
「展開図作成」ボタンをクリックします。。

### 5-3. 影付文字

「影付」をクリックして、チェックマークを付けます。  
「色設定」をクリックして、影色を決定します。影位置0は影無しです。  
0.5以上必要です。「展開図作成」ボタンをクリックします。。

### 5-4. グラデーション文字

- ▶ 「グラデーション塗り」をクリックして、チェックマークを付けます。
- ▶ 「色1」をクリックして、左の色を決定します。
- ▶ 「色2」をクリックして、右の色を決定します。  
「方向」の右の「V」をクリックして、グラデーションの方向を設定します。  
横:左から右へグラデーション 縦:上から下へグラデーション  
斜め左:左上から右下へグラデーション 斜め右:左上から右下へグラデーション



## 6. 文字配置

文字を回転させて描画できます。  
文字を0.5mmずつ上下左右に移動して、位置調節できます。

### 6-1. 文字回転

画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。  
「普通」→回転なし、「左向」→左90°回転、「右向」→右90°回転、  
「下向」→180°回転  
「展開図作成」ボタンをクリックします。

### 6-2. 文字移動

- ▶ 文字を面の各辺に移動する場合は「文字移動」の移動したい方向の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 通常は文字を面の中心に貼り付けます。
- ▶ 例えば、面の中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 文字の位置を微動したい場合は「文字移動」の入力ボックス(左右方向、上下方向)の値の右の「▲」「▼」をクリックして、変更します。－20mm～＋20mmの範囲で0.5mm毎に移動します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。



## 7. 作者からのお願い&注意事項

### 作成した紙袋の取り扱いについて

- 重量物は、入れないで下さい。  
底が抜けて、中身が破損する可能性があります。
- 飲食物は、直接入れないでください。  
衛生上良くありません。
- 精密機器(部品も含む)を入れないで下さい。  
落としたり、衝撃を与えると故障や破損します。
- 引火物や危険物を入れないでください。

- このソフトは、フリーソフトウェアです。
- 著作権は、私(HotCakeSoft)にあります。
- コピーは自由ですが、大量配布や雑誌での配布の場合、私の許可が必要です。
- 改変や一部のコピーをしないでください。
- このソフトウェアをパーソナルコンピューターへのインストールやその後、使用することによって生じるいかなる損害、障害、事故に対して私は、責任を負いません。

Copyright © 2023/9

著作者：HotCakeSoft

Ver1.0.0.2 持ち手用穴なしの場合、「上部折り曲げ」寸法0mmに設定、不具合修正

Ver1.1.0.3 設定ツールをドラッグで自由な位置に移動可能、不具合修正

Ver1.2.0.2 パターンの種類81種類に増、パターン模様整形、整理済、拡大縮小、左回転可能、印刷プレビュー、画像保存追加、不具合修正

Ver1.2.0.3 フォント読み込み不具合修正

## 紙袋工作方法

印刷した用紙の「糊」と「底」部分を避けて、透明シールを貼り付けます。(水濡れ変色防止)

- ① 外枠(実線部分【一】)をカッターやはさみで切り取ります。
- ② 上部横線一点鎖線【- - -】を山折りします。厚紙(不要なハガキ)を「上部折り曲げ」寸法の幅で切ります。(2枚必要。長さは、紙袋の幅-5~10mm小さく)  
それを上部折り曲げた部分に挟み込み、糊付けします。(穴補強用)
- ③ 「底に敷く厚紙」を紙袋の幅×深さより-5mmづつ小さく切ります。
- ④ 穴あけパンチで、持ち手部分【○】に穴を開けます。
- ⑤ 縦線を山折りします。糊面に糊を塗り左端裏に貼付け、筒状にします。
- ⑥ 底部分(横線、斜め線)を山折りして、折り癖を付けます。糊を付けて貼り合わせます。
- ⑦ 紙袋の中に上記「底に敷く厚紙」を入れます。
- ⑧ 持ち手用穴に紐(太さ5mm以内)を通して先端に結び目を付けます。

カッターやはさみでケガをしないように十分注意してください。